

エコおばちゃん 2021 年プロジェクト with Covid-19

Ladies Eco Circle プラムロード

2021 年度 助成金額 140,000 円 主な実施場所 下京いきいき市民活動センター

事業目的・概要—2021 年プロジェクト with Covid-19 「未知との遭遇」

コロナ禍、エコおばちゃん達のできる範囲でのエコ活動を模索しながら活動する 2021 年度です。第一に、with Covid-19 を踏まえて活動を継続していくことを念頭に、育まれつつある子ども達の環境の芽を大切に、SDGs の考えを軸に、環境学習会「エコシューレ」の活動力を少しずつ、パワーアップしていく。第二に、梅逕学区から梅小路校区、下京区へと繋がるエコな活動の拡大を図る。もちろん、梅逕学区でのエコ活動を基本にしながら、下京区役所での屋上緑化活動の経験を生かして、2021 年度は、下京いきいき活動センターにて「みどりのテラス」計画、テラス緑化チームメンバーとして、まちのオアシス創りを始めます。今までのエコな経験が豊富なメンバーも、今回の活動場所や活動自体は全く未知との遭遇です。新しい予感がする、エコな繋がりが始まる 2021 年度です。

取組内容—「エコシューレ」&「みどりのテラス」

◎「環境学習会」エコシューレ in 梅逕

- ・SDGs 学習会（子ども達とエコおばちゃん達の学び合い）
- 子ども達との直接活動中止⇒エコおばちゃん達の学習会
- ・EcoSummerFesta 中止 夏休み工作教室中止○○○○○
- ・学区清掃活動実施 「ありがとうの花」キャンペーン実施
- ・クリスマスリース作り中止 「地域を知ろう」お話し会中止
- ・安心安全エコ絵画展実施 梅逕分団器具庫⇒ふれあいサロン
- ・広報誌「Umeko-ji Eco Schule」製作



◎「みどりのテラス」計画 in 下京いきいき市民活動センター

- ・「月一集う」ミーティング実施 by テラス緑化チーム
- ・土づくり⇒堆肥作り計画⇒コンポスト
- ・サツマイモのお試し栽培⇒お試し試食
- ・大根のお試し栽培⇒切り干し大根の試し干し
- ・来館者も心和む「ありがとうの花」キャンペーン
- ・エンドウ豆&じゃが芋のお試し栽培



成果—「エコおばちゃん活動 with Covid-19」

●梅逕学区での小さな活動「エコシューレ」

この間、「エコシューレ」活動は、子ども達とは「remote（リモート・間接的）」になってしまうが、先を考えて、エコおばちゃん達が環境について勉強する充電期間として、次年度に備えて少人数でミーティングを始める。現在、「みどりのテラス」を含む広報誌「エコシューレ」のアイデア編集中。

●梅逕学区での活動継続中

毎月のコミュニティー回収頑張っています。学区に参加していないワンルームマンション住人の方々の参加が上昇中。「限界集落」とも言える我が学区、この若い世代をいかに取り込むかで学区の将来が見えてくるような気がする。「ベランダで簡単生ごみコンポスト」等の紹介を考えてみたい。また、本年度は、安心安全エコ絵画展は消防器具庫のみならず、梅逕ふれあいサロンでも利用者に紹介しています。ただし、コロナ蔓延防止期間中はサロンが利用できず、只今残念期間です。

●下京いきいき市民活動センターでの「みどりのテラス」土づくり計画

下京いきいき市民活動センターの「みどりのテラス」の土づくりをしながら、お試し野菜作りを実施しています。この土の状態も試しています。使わなくなった土をいただきもしました。只今、土づくりは継続中です。



●花いっぱい「ありがとうの花」キャンペーン

夏と冬の学校閉鎖中、元梅逕中学校周辺清掃活動を下京中学校野球部と実施、枯れ葉については校内に設置のタヒロンを利用して堆肥化実施中。特に、年末清掃後には、廃校の玄関先に腐葉土を利用してパンジー苗を植えました。七条堀川交番花壇、下京の二つの小学校にも実施しました。



●「月一回集う」ミーティング at 下京いきいき市民活動センター

2021年6月19日にテラス緑化チームが集い、年間計画を立てました。「月一回集う」ミーティングを実施、情報交換をする。センター利用者や周辺地域の方とのコラボできるイベントを計画し、エコ仲間を増やす。但し、コロナ禍、今年は1年目のお試し期間となり、次のステップを考えることが出来ました。コロナ蔓延防止と重なり、中止となった行事も多々ありましたが、実施方法を考えた上で実施しました。この状況下、出来た行事について大事にしていきたいと思いました。

(団体名) Ladies Eco Circle プラムロード

【代表者】 中村吉江

【主な活動地域】 梅逕学区→梅小路校区→下京区

【ウェブサイト】 なし

【設立の目的】梅逕安心安全ネットワークごみ減量推進会議の女性会委員が軸となり、身近な環境問題を考え、子ども達によりよい地球環境を維持するためにも、次世代との連携を図り、その環境を私達ひとりひとりが意識できるような「持続可能なコミュニティー」の構築に努めるため、3R「リサイクル(Recycle)・リユース(Reuse)・リデュース(Reduce)」の実践と啓発を行うことを目的として設立。そして、1869年に学び舎としてスタートした「梅逕」で、現在の課題である「環境」について子ども達と地域住民が共に学習し、次世代に継続できるコミュニティーを構築する努力を継続しています。

【主な活動内容】

- 梅小路校区発エコシューレ(環境学習会) 休講中
- 「みどりのテラス」計画 in 下京いきいき市民活動センター
- 梅逕学区コミュニティー回収 毎月実施継続中
- エコおばちゃん「SDGs 学習会」 毎月小規模開催
- 下京中学校野球部と元梅逕中学校周辺清掃活動
- 広報誌「Umeko-ji Eco Schule」 年度未発行